

移植そ菜畑の除草に

畑の化粧水

プラナビアン

 水和剤

特長

- ◎定植直後の作物に対して薬害のおそれがなく安心して散布処理ができます。



プラナビアン普及会
シェル・北興・三共・サンケイ

植調協会だより

◎ 会議開催のお知らせ

評議員会・常任評議員会（第11回）の開催

について

日時：昭和50年9月17日（水曜日）

場所：日本都市センター別館第1会議室

東京都千代田区平河町2の6

電話 265-8211番

編集後記

今年の梅雨は早めにあけ、夏の訪れも早かったが、夏の終りに訪れる台風も、例年になく早く本土に襲来、各地で大きな被害が発生した。

最近の住宅ブームの灯も消えた。各地で農地が犠牲にされ、悪徳不動産業者に買い占められ、宅地化はされた農地が、景気の後退により買手もつかず、雑草が生い茂って見る影もないジャングルと化してしまった。

かつては、精農が「草をみずして草をとる」方式で食糧生産に大きな役割を果たし日本人の生命をささえてきた農地である。生活環境をよ

くするために、せめて雑草ぐらいは退治したい。

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都港区芝西久保桜川町26番地
電話 東京(03)502-4188(代)

昭和50年8月発行

植調第9巻第5号

¥250(送料50)

編集人 日本植物調節剤研究協会常務理事 吉沢長人
発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都港区芝愛宕町1-3 全国農村教育協会内
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03)436-3388番